

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現 状 ( D O )	事務事業名 No. 670102 友好の森ふれあいツアー事業		主管課名 産業課								
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		課長名 久野 秀夫						
		施策	連携と友好のきずなで築くまち								
		基本事業	友好都市交流の推進								
	(1)事業の概要										
	・小学生以上の市民の参加者を募集し、長野県木曽町三岳にみよし市が所有する森林(みよし市友好の森)で、木曽町や木曽森林組合等の指導協力を得て、除間伐の体験を行う。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)							
				名称	単位						
				ツアー参加者	人						
				体験日数	日						
				その指標							
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		ツアー計画作成 ツアー参加者募集 ツアー実施 木曽町、木曽森林組合などへの協力依頼、打合せ レンタルトイレなど備品の調達 アンケート調査 のこぎり、レ									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)								
市民			名称	単位							
			人口	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)								
森林の適正な保全が大切なことを知ってもらう 森林保全の苦勞を体験してもらう			名称	単位							
			森林保全の大切さを理解した参加者数 / 参加者数	%							
			また参加したい人の数 / 参加者数	%							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)								
自主的な交流活動をしてもらう。			名称	単位							
			自主的な交流活動をしていると答えた人の割合	%							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		人	37	18	40	40	40	40			
		日	1	1	1	1	1	1			
(6)の対象指標		人	58,216	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500			
(7)の成果指標		%	81.8	94.4	100	100	100	100			
		%	89.2	88.8	90	90	90	90			
(8)の結果の成果指標		%	7	7	7.5	7.5	7.5	7.5			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	184	171	221	221	221	221			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	4	2	4	4	4	4			
	一般財源	千円	180	169	217	217	217	217			
人件費B		千円	1,074	1,094	1,094	1,094	1,094	1,094			
正職員従事時間×人数		時間×人	97×3	97×3	97×3	97×3	97×3	97×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用C		千円	91	92							
トータルコストA+B+C		千円	1,349	1,357	1,315	1,315	1,315	1,315			
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	670102	友好の森ふれあいツアー事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		平成15年度 から	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		平成12年度に取得した友好の森の整備は平成14年度に終了したが、市民への環境保全の大切さを啓発し、森の有効活用を図るため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		変化していない 変化している → 変化し環境問題への取り組みは年々重要視されてきた内容	
(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		・課題 みよし市友好の森が遠隔地に立地するので、管理や対応を迅速にできない。 ・住民・議会等からの意見 特になし		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務 →	根拠法令	なし	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく →	理由	取得した森林の適正な保全は、環境問題上からも重要であり住民への啓発や理解を得るきっかけづくりは行政の役割である。
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容	
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	友好の森の活用度が低下する。 友好の森を取得したことの意味が薄れてしまう。
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	将来的に間伐体験だけでなく、他の体験プログラムを併用することにより参加者の増員を図っていくことができる。
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容	他の体験プログラムを実施した場合、教材費などの負担は必要。	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	・雨天時における体験プログラムの見直しと同時に参加者が喜んでもらえる内容を実施する ・雨天時に実施できる場所を確保する ・国、県、木曽町等の関係機関と事業実施のため調整を行う ・木曽町三岳地区との連携を進める ・地元の方々との交流を深める					